

2025年度第53回情報通信学会大会プログラム（個人研究発表・特別報告）

日時：2025年11月30日（日）

会場：オンライン開催（ZOOM Cloud Meetingsを利用）

※水色の欄は個人研究発表アーリーバードの部（学生発表）となります。

個人研究発表			
	会場1 Aグループ	会場2 Bグループ	会場3 Cグループ
司会者	清原聖子(明治大学)	岡本洋太郎(東洋大学)	飯塚留美(マルチメディア振興センター)
10:40~11:15	インターネット上の誹謗中傷とインターネット実名制に関する調査研究	地域住民にとってローカルメディアは「善き隣人」なのか —島根県浜田市・飯南町におけるインタビュー調査から—	諸外国のSNS規制動向から見た未成年者保護
	平山朝之(明治大学大学院生)	久野匡貴(法政大学学部生)、藤代裕之(法政大学)	康佳慧(KDDI総合研究所)
	討論者: 山口真一(国際大学GLOCOM)	討論者: 吉見憲二(成蹊大学)	討論者: 藤野克(内閣官房)
11:20~11:55	LINEにおけるリアクション機能が気分および向社会行動に与える影響	情報源の重要性を体験するワークショップの提案	欧州におけるエンド・ツー・エンド暗号化規制の試み
	藤井美里(立命館大学大学院生)、寶雪(立命館大学)	矢舗カレン(法政大学学部生)、藤代裕之(法政大学)	八田真行(駿河台大学)
	討論者: 河合伸悟(東京情報デザイン専門職大学)	討論者: 一戸信哉(敬和学園大学)	討論者: 藤野克(内閣官房)
11:55~13:00	※MTGルーム解放(大会参加者は自由に使用可)		総務省による特別報告(12:00~12:50)
			テーマ:「令和7年度版 情報通信白書」の概要 講演者: 藤井 啓太郎 氏 (総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 情報通信経済室 課長補佐)
13:00~13:35	日本語版ソーシャルメディア依存傾向尺度(BSMAS-J)の信頼性と妥当性の検討	ICTを通じた情報共有は協調的行動を促進するか?	『国内制作コンテンツ』認定制度における制作貢献評価の検討 —外資出資・配信主導型事例を踏まえて—
	LIAN Zhixian、ZHANG Mengting(立命館大学大学院生)	中村彰宏(中央大学)、杉山拓海(中央大学大学院生)、 真中今日子(中央大学)	小林真名実(知財融合研究所)
	討論者: 田代光輝(中央大学)	討論者: 齋藤長行(仙台大学)	討論者: 小泉真理子(京都精華大学)
13:40~14:15	インターネット依存傾向とネットいじめの加害・被害に関する調査の報告 —全国の大学生世代への調査結果から—	情報接触と社会不満が投票先政党に及ぼす影響の研究 —2025年参議院議員選挙の調査結果から—	都道府県Webサイトにおいて設定されているロボット排除標準の現状
	田代光輝(中央大学)、富田拓郎(中央大学)、 大宮宗一郎(上越教育大学)、菊地創(愛知県立大学)、 実積寿也(中央大学)	長濱憲(元東京大学大学院生)、橋元良明(東京大学)	本田正美(関東学院大学)
	討論者: 藤代裕之(法政大学)	討論者: 小笠原盛浩(東洋大学)	討論者: 八田真行(駿河台大学)